



エンパワーメント(力をつけよう)

—第2回ミニ・バスケット大会開催にあたって—

開倫ユネスコ協会
会長 林 明夫

「子どもは風の子元気な子」。私はこの言葉が好きです。子どもの仕事は、2つあります。1つは熱心に勉強すること、2つめは元気に外で遊ぶことです。

みなさんのように、ミニ・バスケットに取り組んだり、元気に遊ぶことは、子どもとしての仕事を立派にしていることで、とても尊いことです。尊敬に値します。

冬の寒さにも負けず、外で元気に遊んで、何を身に付けてもらいたいかと言えば、エンパワーメントです。日本語に直すと「力をつけること」を目指してもらいたいのです。どんな困難なことがあってもくじけたり、負けることのない「力」を、外で元気に遊ぶことによって身に付けてもらいたいのです。

折角ですので、スポーツ大会に参加する利点をいくつかお話しします。

①新しい友だちができること。

試合の相手チームの選手も、試合が終われば同じスポーツをする友だちです。できるだけ声をかけ合い、お友だちになって下さい。

②新しい町に行けること。

外部での試合のたびに、新しい所を訪れることができます。町の景観、自然にもできるだけ目をやり、目にやきつけて下さい。

③人生の厳しさを感じられること。

一所懸命練習すれば必ず上手になりますが、上には上がいてなかなか勝てないことを経験できるのもスポーツのよいところです。

④「美しい立ち振る舞い」と「敬語表現を含む言葉遣い」がスポーツをしながら身に付くこと。

以上